

授業実践ギャラリー

職能開発科 家庭

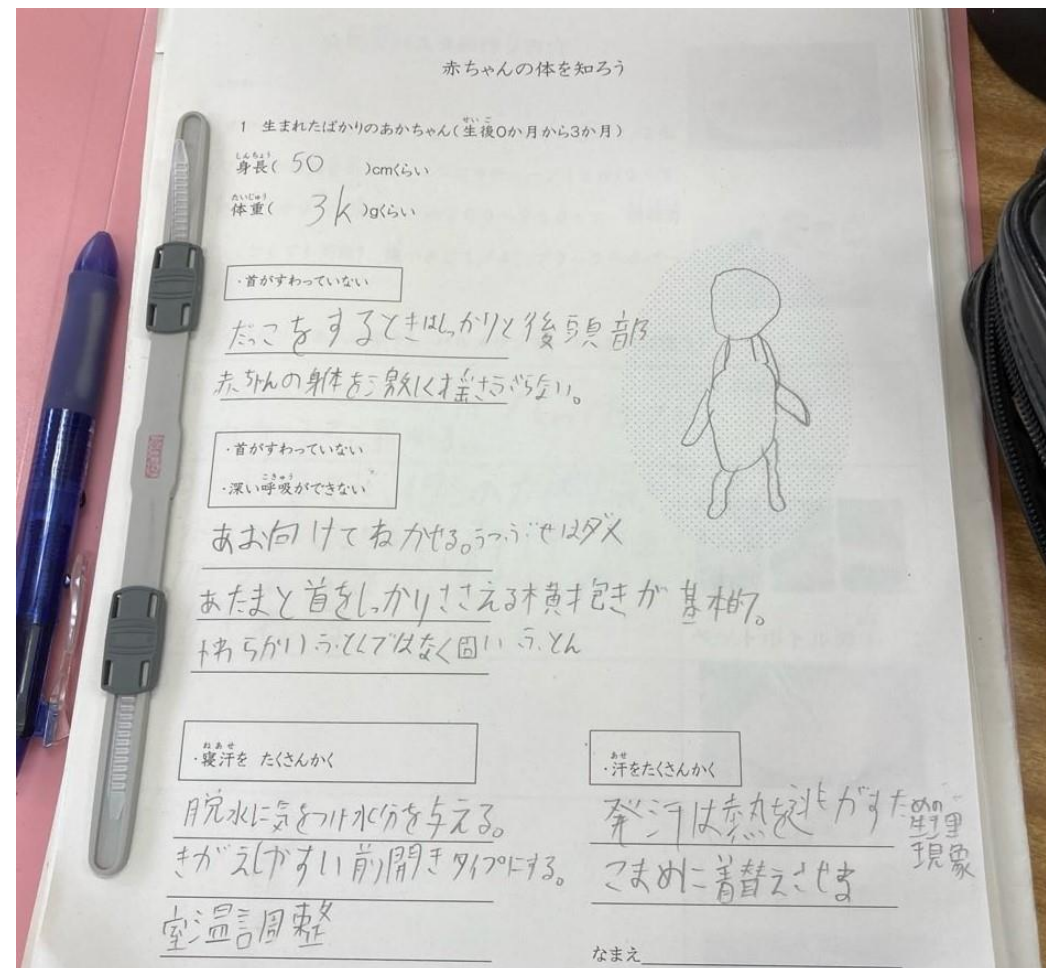
「保育」





赤ちゃんの実物大人形を用意しました。重さややわらかさを実体験できます。抱き方や注意点を学びました。育児、といえはおむつ替え。これも実物を使って体験しました。

職能開発科2年の家庭の授業です。単元は「保育」。新しい生命、赤ちゃんについての授業です。





おむつ替えや抱っこを体験し、赤ちゃんの大切さを感じたところで、時間を巻き戻して「妊婦さん体験」をしました。重さに加えて階段を下りるときの段の見えにくさ、その時にパートナーがそばにいてくれる時の安心感を感じました。

地面のものや高いところのものを取るのも大変。実は流通の授業でのテクニックが役に立ちました。





スリッパでの歩行も体験しました。靴下をはいているととても滑りやすく、不安です。こうしたことを知るということは、自分の家族だけでなく、町で見かける妊婦さんについても理解を深めることにつながります。

体験キットには先ほどの赤ちゃんの人形が入っています。それを重さを感じるための教材と考えることもできます・・・。
この男子生徒は授業の間、さりげなく、やさしく手を添えていました。とても大切なことを学んでくれたのだと思います。

